



第15次県費事務改善検討委員会の報告です

第15次県費事務改善検討委員会において県事協版「諸手当認定・電算マニュアル」「学校事務の実務手引書」「福利厚生団体様式記入例」「『出産・育児』ハンドブック」の更新を行いました。県費事務改善検討委員・常任委員・常設委員の皆様には、職場の業務もすすめながら、内容の検討・更新作業に携わっていただきました。

また、県教育委員会教職員課・総務福利課をはじめ、県教職員福祉事業連絡会の各団体におかれても、業務御多用の中にも関わらず点検や情報提供をしていただきました。私たち学校事務職員が業務を適切に行うために、多大な御協力をいただきました関係の皆様には、厚く御礼を申し上げます。

編集にあたっては、制度や様式の改正に対応するとともに、会員の皆様から提供いただいた情報をもとに検討し、内容の充実を図りました。認定事務や福利厚生の手続きに、給与事務にあたっての確認や学習に、お近くに置いて御活用いただければ幸いです。「『出産・育児』ハンドブック」は、学校事務職員だけではなく、教職員の皆様にもお役立ていただけます。あわせて御活用いただければ幸いです。更新されたデータは、各地区へ配布した「2020県事協CD」に掲載されています。加えて、県事協ホームページにも順次掲載します。

なお、内容現在は編集時点(2020年11月30日)のものであり、これより後の条例や様式等の改正には対応しておりません。最新の情報と照らし合わせながら御利用ください。

先般行われた事業に関するアンケートによると、各編を会員の多くの方が御利用いただいています。これらを次年度も更新し、県事協の目的である「県下の学校事務職員が等しく情報を共有・享受し、広域的に連携する」ことに寄与してまいります。

お気づきの点や事例、地区研修会等における質疑応答などの情報を、各地区の評議員または次年度の県費事務改善検討委員へお寄せください。会員の皆様の御意見をもとに、学校現場の要望や実態に即した改善が図れるよう、次年度も更に充実を期してまいります。(事業担当理事)

◇来年度の県費事務改善検討委員会に向けて

上記の第15次報告でも触れていますが、例年、5月の第1回評議員会で、県事協マニュアル等に掲載する質疑応答の収集について案内しています。現場から出された質疑に教育事務所が文書等で回答したもののうち、広く県下で活用できる情報を掲載する予定です。

各地区で収集していただいた質疑応答を、県費事務改善検討委員が検討委員会に持ち寄って、掲載に向けての検討を行っていきます。各地区で収集の依頼があった際は、評議員・県費事務改善検討委員へのご協力をお願いいたします。

諸手当認定マニュアル等についてのお願い

2月末～3月初旬にかけて、お手元に諸手当認定マニュアルと実務手引書の加除修正分が届いたと思いますが、差し替え作業はお済みでしょうか。もし、まだの方がいらっしゃいましたら、年度をまたぐ前に済ませてくださいますようお願いいたします。

また、地区から配布されたものや公用分(学校配当予算で購入したもの)については、学校保管となっています。異動される際、新任校についてから「しまった、持ってきてしまった!」ということのないようお気をつけください。

反対に、新任校に赴任してみたら認定マニュアル等が「元々ない」という場合があります。その際は、各地区の県事協評議員へご相談ください。よろしく願いいたします。

鹿児島市学校事務研究会より今年度も資料提供していただきました

～「学校事務の実務手引書」はお役立ち情報満載です～

鹿児島市学校事務研究会（以下、「研究会」）から「学校事務の実務手引書」を昨年度に引き続き提供いただきました。職員が採用されたとき・結婚したとき等、いろいろなケースごとに、県費事務と福利厚生関係事務がまとめられています。提供していただいたデータは後日、県事協HP（会員ページの各地区研修会資料）に掲載予定です。ぜひご覧ください。

※ 研究会ではこのほか「市費事務の手引」「事務補雇に伴う事務処理手引」を作成しています。

第4回評議員会が開催されました

2021年3月2日（火）に、第4回評議員会が開催されました。

開会の前に、県教職員共助会の加治屋理事長より、共助会事業の説明をいただきました。まず、500名を超える新規加入者があったことについて、各職場における学校事務職員の皆様のご協力のおかげであると、感謝の言葉を述べられました。その他、今後の会員数の推移予測や、貸付利息の引き下げなどについて話されました。

引き続き評議員会では、福崎会長から、「今年度の事業が無事終わられそうである。来年度へ向けて役員等生み出す作業は大変だと思うが、これまで積み上げてきたものを未来へ繋いでいくために、ご協力をお願いしたい。」とのあいさつが行われました。

協議においては、今年度事業経過や会計の決算見込の報告、来年度の事業計画案の説明、役員の改選、2021年8月6日（金）にサンエールかごしまで開催予定の学校事務現状報告会についてなど、盛りだくさんの項目について、話し合うことができました。

質疑応答の一部をご紹介します。

Q 8/6現状報告会の日には評議員会・総代会も組まれるが、会場は報告会と一緒か。また、会場がサンエールということで収容人数が多くなるが、参加要請人数も増やすのか

A 評議員会・総代会もサンエールで行う。参加規模は現時点では未定。支援室数の130は確保したい。場所の選定は感染症の状況など、不測の事態に対応できることを念頭に進めた。また、連絡体制を整えておく必要があるので、名簿等の整備をお願いする予定。

Q 地区としての予算を策定するうえで印刷サービスの価格の情報が必要なので教えてほしい。

A 現時点では今年度と同程度と考えている。

Q 県事協アンケート報告の取り扱いは。

A 様々な意見があったが、運営に生かせるものは生かしていく。

ご参加くださった評議員の皆様、ありがとうございました。

また、会員の皆様には、すべからず年度末・始めの慌ただしい時期が参ります。元気に乗り切れるよう、くれぐれもご自愛ください。そして、来年度も県事協をよってたかって盛り上げていただければ幸いです。



評議員会の様子

各地区の事務職員会等の紹介

鹿児島地区から

鹿児島市の学校事務研究組織の紹介

鹿児島市立生見小学校 上三垣 健士郎

○鹿児島市喜入町について

はじめに、今回は鹿児島市の中でも、生見小学校のある喜入地区（鹿児島市喜入町）について簡単にご紹介したいと思います。喜入地区は以前、揖宿郡喜入町でしたが、鹿児島市と合併して鹿児島市喜入町になりました。南北に細長い町ですが、JRが通っており鹿児島市街地へも行き来しやすく、交通の便の良い地域です。市の南部に位置するため、比較的温暖で過ごしやすい気候であることも特徴です。また、錦江湾の海を埋め立ててできた「ENEOS喜入石油備蓄基地」があり、町内の小学校では社会科見学で利用することがあるようです。

生見小学校のすぐ近くに位置する生見海水浴場は、夏場は市内外からの海水浴客で賑わい、学校においても遠泳大会などの行事で利用することの多い場所です。砂浜には松林も連なり、夕暮れ時にはどこか懐かしいノスタルジックな雰囲気漂います。



生見海水浴場（鹿児島県HPより）

町花 ツワブキ

○共同実施及び学校事務研究組織について

鹿児島市においては、主に中学校区ごとに分かれた21の事務支援室が存在します。喜入地区は、旧喜入町の小学校6校・中学校1校で「第21学校事務支援室」を形成しています。事務職員数は各校に1名ずつ配置され、計7名の支援室です。やはり近隣校同士だと、取り組むべき事務やその時期などが似通っていることが多いので、こういった情報共有のできる場はありがたいです。

また、鹿児島市には事務研究組織として、「鹿児島市学校事務研究会（県事協加入）」と「鹿児島市小・中学校事務職員会（県事協未加入）」の二つがあります。鹿児島市に赴任すると、どちらかの会を選んで加入することになります。普段はそれぞれの会で研修を行っていますが、年に2回、両会で構成する「鹿児島市小中学校事務職員協議会」の研修会が実施されます。こちらでは、外部講師による講演が組み込まれたり、両会会員をランダムに割り振ってグループ討議を行ったりと、普段とはまた違った充実感を味わえる内容です。鹿児島市の学校事務職員が、「ひとつの研究組織」のもとに集う意義を確認する場としても繋いでいければと思います。

この1年は新型コロナウイルス感染症の影響で、学校現場はバタバタと大変な1年間でした。事務職員にとっても感染症対策・学習保障の予算運営等で、大変なことが多かったように思います。

そういった情勢の変化に臨機応変に対応しつつ、研修会などを通じた事務職員同士の横のつながりを大事にしていきたいと思っています。

南九州市学校事務職員協議会の紹介

南薩地区から

① はじめに

南九州市は、平成19年12月1日、旧揖宿郡頰娃町、旧川辺郡知覧町及び川辺町が合併し、誕生しました。平成の大合併においては、県内20番目に数えられます。市の基幹産業は農業で「茶」「さつまいも」「大根」などの作物が生産され、畜産業や焼酎・仏壇産業などの伝統地場産業もあり、特に川辺仏壇は国の伝統的工芸品の指定を受けるなど、全国でも有数の高い技術と伝統を誇っています。

② 南九州市学校事務職員研修会について

現在、20名の事務職員が18の小学校（兼務校1）、3の中学校に配置されています。市全体の研修会は年3回を計画しており、研修内容として旧町ごとに研修テーマを設定し、報告・協議や意見交換、市教委との連携強化を図っています。

また、平成30年度に事務委任規定（教育委員会訓令第5号）が改正され、各手当の受給権調査など認定事務においては、頰娃・知覧・川辺ブロックでそれぞれ検討し、支援室単位で実施しています。

配当予算については平成29年度より、学校予算が大幅に削減されました。厳しい状況の中ですが、各学校工夫を凝らしながら保護者への負担転嫁がないように取り組んでいます。これまで、学校現場の声を反映させ、少しでも購入費用が抑えられるようにという思いから備品の「共同見積り」を始めていましたが、大幅削減により購入したくても買えない状況となりました。併せてこれまでの予算要求方法（積み上げ式）から枠配分方式に切り替わり、消耗品費の確保すら厳しい状況となり、図書費を含む備品購入費を削減せざるを得ませんでした。そのため、次第に備品の共同見積りをする意義が薄れていきました。そのような状況でしたが、これまでの経験を生かした「消耗品」の共同購入にシフトし、購入費用を抑える取り組みをしているブロックもあります。

学校予算が削減された本市において、取り組むべき課題は児童・生徒が学ぶ環境（学習指導要領改訂にどう対応していくか）を整えること。少なからずPTA予算をはじめとした私費会計に頼らざるを得なかった現状を打破し、保護者負担軽減を実践していく。大きくこの2点だと考えています。解決するためには時間を要するかもしれませんが、3ブロックと協力し合いながら取り組んでいきたいと考えています。

（文責：南九州市立勝目小学校 釜口大資）



田んぼアート
（川辺町田部田）

（朝日デジタルより引用）



鹿児島市の田上より移転してきたカレー屋さん

「Jacobspice」
（川辺町清水）

（食ベログより引用）

ホームページ担当からのお願い

県事協HPを更新する際、トップページの画像も入替を行っています。しかし「なんか良い画は無いのか」と無理矢理ひねり出しているのが現状です。そういった状況の改善策を思案した結果、良い画像をお持ちの方から提供してもらうのが最良と考えました。

つきましては、良い写真が撮れたけど自分だけで見るのはもったいないなど、画像をお持ちの方がいらっしゃれば、ご提供いただければ幸いです。

なお、写真ではなく、書画等の画像データでも構いません。よろしく願いいたします。

※送付先メールアドレス（小山田小 城森）
s46-jimu1@keinet.com

活動経過及び予定

- | | |
|-------|--------------|
| 1月15日 | 理事会・第3回常任委員会 |
| 2月22日 | 県事協マニュアル追録発送 |
| 3月2日 | 理事会・第4回評議員会 |
| 4月16日 | 理事会 |
| 5月14日 | 理事会・第1回評議員会 |

編集後記

なかなかうまいことを書き綴る状況が訪れぬまま、2020年度が終わりを告げようとしています。次こそは読み応えある編集後記に…。それはさておき、寄稿くださった鹿児島市学校事務研究会、南九州市学校事務職員協議会の皆様、ありがとうございました。 國